

資産運用フォーラム年次会合
加藤金融担当大臣 挨拶
令和6年10月3日

皆様こんにちは。このたび発足しました石破内閣において、金融担当大臣を拝命しました加藤勝信です。本日は、資産運用フォーラム年次会合にお招きいただき、厚く御礼申し上げます。

石破内閣では、これまで岸田内閣が進めてきた経済政策をしっかりと引き継ぎ、デフレ経済からの脱却を確実なものとしていきます。また、先程、石破総理からもお話しがありましたとおり、「資産運用立国」の政策もしっかりと引き継ぎ、更に強力に発展させていくとともに、地方への投資を含め、内外からの日本への投資、これをしっかりと引き出していく「投資大国」、これを経済政策の大きな柱としたいと考えております。またその旨私が金融担当大臣を命じられた時に、これが大事なミッションであるとの指示を受けたところです。

政府として、この「資産運用立国」と「投資大国」の実現に向けて、家計、企業、また今日おいで資産運用業の皆様方をはじめ、インベストメント・チェーンを構成するそれぞれの主体に対して、しっかりとした取組を強化してまいります。

皆様もご承知のように、わが国においては「貯蓄から投資へ」の移行が今大きく始まろうとしています。その動きを更に本格的なものとしていく。

そのために、まず第一に、家計に向けては、今後、デフレから脱却し、適度な物価上昇が見込まれていく中で、より幅広い層の家計において長期安定的な資産形成が行われるよう、NISAの適切な活用等を推進してまいります。

第二に、企業に向けては、株主である機関投資家が行うスチュワードシップ活動等を通じて企業の統治・経営改革を促し、それにより、持続的・構造的な賃上げ等の人的投資や成長分野への戦略的投資がなされるよう、取り組んでまいります。

第三に、脱炭素化など社会課題の解決に向けた投融資や、スタートアップに対する投資、まだ十分に発達していない分野の資金供給も促進していきたいと考えています。

こうした取組を通じて、資金の好循環が実現することで、スタートアップや地域の企業においては「ビジネスの機会」が、個人投資家においては「投資収益」が、従業員におかれては「賃上げ」がもたらされ、更にこれが加速・拡大していく、こうした姿を実現していきたいと考えています。

こうした資金の好循環を実現する上で大事なことは二つあります。一つ目は企業への資金供給、二つ目は投資成果の家計への還元、これが適切に行われていく必要があります。そのためにも、今日おいで資産運用業の皆様方が企業と家計を橋渡ししていただき、そして今申し上げた成果を生み出しいただく、大変重要な役割を担っていただいていると考えています。

日本における資産運用業のサービスや機能を強化するためには、内外の資産運用会社や投資家が集い、世界における先進的な資産運用サービスの状況や、投資家の皆様方のニーズ、そして日本政府の「資産運用立国」に関する取組等について情報共有をし、深い議論をしていただく、これが大変有効と考えます。

今回、国内外の資産運用会社の皆様方を中心とした関係者間の対話のプラットフォームとして、資産運用フォーラムを設立していただきました。大変意義深いことであります。

資産運用フォーラムにおいては、新興資産運用会社の活用、多様なアセットクラスへの投資、サステナブルファイナンスの推進、投資を通じた企業の価値向上等の幅広い重要なテーマが議論されると聞いています。

今後、資産運用業への内外からの新規参入と競争が促進され、資産運用業界がますます発展されるよう、活発なご議論を期待するところであります。また、あわせて、このフォーラムにご参加の皆様

には、日本市場の魅力に関する情報発信も、積極的に行っていただくことをお願いしたいと思います。

本日の年次会合がフォーラムの活動初日として有意義なものとなることを強く期待を申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。今日はおめでとうございます。